

陽東地区 さくら台自治会

●加入世帯数：61世帯

●加入率：100.0%

活動内容

さくら台自治会は陽東地区東部の高台にあり、遠くには清原工業団地の工場棟眼下には開業間近いLRTの車両基地があります。

61世帯に150人ほどが暮らす小さな自治会です。

コロナ禍で地域行事や団体の活動が制限され、人と人との繋がる機会が少なくなっており、狭い自治会内でも顔を合わせる機会が少なくなり、心と体の健康に良くない状態が続いている事から、親睦の場を設けることを目的に自治会内に自治会が所有する60坪ほどの浄化槽跡地があり、雑草で覆われていた跡地を会員の手で整備し花壇を造り、花壇を媒体として会員の交流、心と体の健康を補う事としました。

名称を『さくらかだん』とし、長く利用できるよう、自治会の4班分と未来に引き継ぐため、次世代の子供や育成会の父母の方々とコミュニケーションを深める事も目的として『こどもかだん』も造りました。

かだんには会員の皆さんの家の庭から草花を提供いただき、8月の植花の際には会員、子供会の皆さんを含め20名ほど参加して植花しました。



かだん回りのフェンスの金網交換や塗装工事も行い、入り口の階段に手摺も設置しました、3月から11月の間はテントを常設しています。



9月18日に4年度陽東地区の敬老会が実施され、当自治会の招待者の方々に社会福祉協議会からの記念品と自治会からの感謝の品を『さくらかだん』でお渡ししました。

加入率を維持する秘訣

- ・ 役員執行部から会員への発信をまめに行い、自治会内が常に流動している状況が望ましいと考えています。(自治会単独の回覧を利用＝地域の行事、ゴミ問題、防災)
- ・ 日頃より民生児童委員、福祉協力員と自治会役員、班長の9名で包括ケアの見守りを実施しており、年4回実施している『見守り会議』の中で各班長から班内状況の報告があり、自治会内の情報を共有して活動に役立てています。
- ・ 当自治会の会費は3回に分けて、年7,500円で低いとは思いません。コロナ禍で各種行事が未実施の昨年は年会費の徴収は無しとしました。今期は1分回のみ徴収し、2回分5,000円を徴収しない事としました。
- ・ 防災予算なども毎年50,000円計上していますが、ここ数年大きな支出がない事から冬場の停電などへの対応として、8月に全世帯に便座シート2セットを各班長より手渡し配付しました。

